

まつやま人口減少対策推進会議 専門部会事業提案書

代表団体名称	特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ
副代表団体名称	愛媛県若年者就職支援センター
活動テーマ	若者が共働き家庭で生活体験をする「共働きお宅訪問インターンシップ」～ライフデザインプロジェクト～
活動趣旨（本市の人口減少対策の現状、課題等）	<p>少子高齢化の急速に進む中、労働力人口の減少が地方では最重要課題となっている。1999年以降、共働き世帯が専業主婦世帯を上回る現状にありながら、結婚出産を機に離職する女性は6割を超えている。男は仕事、女は家庭というような性別役割分業意識も根強く、社会で次世代を育てるには実情が伴っていない。原因の一つとして、若い世代の受けてきたキャリア教育の現状として、中学～大学まで、職業理解を中心とした「ジョブキャリア教育」は実施するが、市民であることを理解し、働き方や暮らし方を考える「ライフキャリア教育」は少ない状況である。「個人が職業生活・家庭生活・市民生活等全生活で経験する様々な立場や役割を遂行する活動」がキャリアであり、若者が子育てをしながら地域に定着し、次世代を社会全体で育てる風土を根付かせるには、本プログラムを大学・行政・地域が連携し、実施する必要がある。</p> <p>そこで、今回の企画では若者（大学生や企業の若手従業員）が、子育てと仕事を両立することを選択肢の一つとして前向きにとらえることができるように、家庭生活や子育てもキャリアと感ずることができる体験から、松山市で家庭を築きながら働くことをイメージしてもらおう。また、若者を受け入れる企業や従業員にとっても、自身のキャリアを振り返る機会となり、若者との触れ合いが地域への関心につながり、相互理解が深まる。</p> <p>この取り組みを地域広報で広く市民に知ってもらうことにより、社会全体で若者の仕事と暮らしの両立を応援する機運を醸成することを目的とする。</p>
活動の項目	<p>○調査・研究活動 推進会議規約第3条(1)</p> <p>○普及・啓発活動 推進会議規約第3条(2)</p>
活動内容（本市の実態や効果的な施策に関する調査・検証、人口減少対策推進のための取組の周知・啓発等）	<p>※本活動は適宜オンラインを活用し実施する</p> <p><ライフデザイン出張講座></p> <p>・愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、聖カタリナ大学、の4大学にて各1講座、企業に勤務する共働き経験者（中堅人材）2名（異業種）に登壇いただき、価値観への折り合いのつけ方、仕事と暮らしの両立について話をしていただき、気づきの共有を行う。</p> <p><共働きお宅訪問インターンシップ></p> <p>・市内に勤務する共働き家庭に、若者（大学生並びに企業の若手社員）が、共働き家庭の日常を体験し、「仕事と暮らし」についてインタビューを行うインターンシップを行う。また、インターンシップ実施前に、ワークライフバランスや企業での働き方、女性の継続就業の現状について事前学習を行い、企業訪問のマナー、企業研究のサポートを行う。</p> <p><学生ボランティアスタッフと若手社員の協働></p> <p>令和4年度のライフデザインキックオフイベントを開催し、プロジェクトに参画してくれる学生を募る。応募学生とR3年度の学生スタッフを軸に、自主グループとして活動する。また、企業の若手社員にも参画を呼び掛け、学生の活動に助言等を行う。</p> <p><次世代を育てる人材の発掘></p> <p>大学生を対象としたライフキャリア教育の授業で、スピーカーとしての活動が出来る人材を発掘する。ライフデザイン出張講座を実施する</p>

	<p>うえで、登壇する講師が重要となる。そのため、企業との交渉などにより、次世代を育てる人材の獲得を行う。</p> <p>この活動で発掘した人材をベースに、スピーカーとして活動を行うことができる認定制度をワークライフ・コラボと愛 work が設ける。</p> <p>目的は、次世代を育てる企業人材を増やすことと、企業の中堅社員のアップデートの機会の創出とする。</p> <p>認定はワークライフ・コラボと愛 work が行い、認定を受けた認定スピーカーの管理はワークライフ・コラボが行う。認定スピーカーが双方事業や専門部会活動などで幅広く活動するとともに、研修の受講などによりアップデートされることで、継続して次世代育成を実施するしくみを構築する。</p>
進捗状況	<p><ライフデザイン出張講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月9日 松山大学経営学部「キャリア形成論」の枠で実施 ・7月27日 愛媛大学教育学部「生活科学概論」の枠で実施 ・11月21日 松山東雲短期大学現代ビジネス学科で実施予定 ・聖カタリナ大学で実施予定、調整中 <p><共働きお宅訪問インターンシップ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月18日「男女の価値観アップデート勉強会」をオンラインで開催し、学生が、男性の育休取得者4名の体験談を聞いて、将来の結婚・子育てと仕事の両立について知識を深めた。 <p>※共働きお宅訪問インターンシップの事前学習を兼ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップは2組実施予定、調整中 <p><学生ボランティアスタッフと若手社員の協働></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフ・コラボに登録する学生ボランティアや、各大学でのライフデザイン出張講座でボランティアを呼び掛けたところ、4名の学生から申し込みがあり、以下の活動を行った。 ・就活についての意見交換、自己分析 ・8月18日の勉強会のチラシ作り <p><次世代を育てる人材の発掘></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーカー募集のチラシ（別添）を作成し、企業へアプローチを行っている。 ・7月27日の愛媛大学LD講座で1名、8月18日の勉強会で2名の方に今年度からスピーカーとして協力いただいている。
構成メンバー	ワークライフ・コラボ、愛媛県若年者就職支援センター、愛媛県中小企業家同友会、松山市公共職業安定所
事業期間	2022年4月1日 ～ 2023年3月31日
事業に要する経費	1,700,000円

自身の話をするすることで、次の人の応援に・自分の成長につなげませんか？

ライフキャリア教育を推進する

WLB認定スピーカー募集!!

▶ ライフデザインプロジェクトについて

ライフデザインプロジェクトとは、まつやま人口減少対策推進会議の専門部会事業で、大学生と入社5年以内の若者を対象に、就活を含めたライフデザイン（人生設計）におけるキャリア選択の助けになるプログラムを実施しています。プロジェクトの趣旨として、若者が、就職の先にある、「仕事」と「暮らし」を前向きにとらえることができるように、地域で家庭を築きながら働く先輩の「ワーク × ライフ」に触れ、将来のライフスタイルをイメージしてもらおうことを考えています。



▶ ワークライフバランス（WLB）認定スピーカーについて

ワークライフバランス認定スピーカー（以下WLB認定スピーカー）とは、松山市内の企業で、社内の両立支援制度を利用しながら勤務する20代～40代の方に、就職、結婚、子育てを経てご自身の葛藤や変化、仕事と暮らしの折り合いのつけ方などを、大学等の授業でお話いただくスピーカーです。

WLB認定スピーカーは、NPO法人ワークライフ・コラボ（ワーコラ）と、愛媛県若年者就職支援センター（ジョブカフェ愛 work）が右記の基準を目安に企業で勤務する社会人を認定する制度です。認定を受け、受嘱したWLB認定スピーカーは、大学生等を対象としたライフキャリア教育授業の社会人講師としての活動を行うことができます。

▶ 認定の目的

WLB認定スピーカーは、ライフキャリア教育を推進するスピーカーであり、次世代を育てる企業人材を増やすことと、企業の中堅社員（入社3年以上）のアップデートの機会の創出を目的とする

▶ 認定の基準

- ・働くこと、暮らすことの軸を持っていて、それを開示できる人
- ・次世代応援のために自ら行動できる人
- ※既婚未婚に限らず、共働き・子育て・女性のキャリアという側面を伝えるケースは多い

講座のテーマ例

- ・悩みあり、楽しさありの私のキャリア
- ・悩んで、動いて見つけた私の働き方
- ・一人で悩まない、頑張り過ぎない私の働き方 他



WLB認定スピーカー
ライフキャリア教育を推進しています

▶ 認定を取るための手順

1. ワーコラ、愛 work からのアプローチ、または企業からの推薦
2. 上司または経営層・推薦者とワーコラとの面談
3. プロフィールシートの記入
4. 大学等または、ライフデザイン講座、イベントで登壇
5. フィードバック&認定
6. 認定証、認定ロゴの発行（ロゴは企業の名刺に入れるなど、企業としてもメリットのあるものとして活用）

▶ 認定後の活動について

- ・大学等または、ライフデザイン講座、イベントで登壇の継続
- ・勉強会の開催（年に1回程度）
- ・WLB認定スピーカーのメーリングリストにて情報共有

▶ WLB認定スピーカーを有する企業メリット

- ・大学等との関係を築くことができる
- ・大学生等へ企業の働き方をアピールできる
- ・大学生等と意見交換できる
- ・WLB認定スピーカー自身や周囲の社員の成長につながる
- ・WLB認定スピーカーに続く人が出るなど社内でも好循環が生まれる
- ・WLB認定スピーカーのファンが増えて、インターンシップや企業説明会に学生が集まる



人と企業と地域をつなぐ。
WORK LIFE COLLABO



あなたの働く未来をデザイン
愛媛県若年者就職支援センター

大学・専門学校等 学校関係者の方へ

費用
無料

ライフデザイン出張講座をお届けします！

社会の変化が著しい未来で、前向きに仕事と暮らしの両立するための「ライフキャリア教育」。ワークライフバランス認定スピーカーが学生の未来を照らします。

ライフキャリアとは、社会で活躍して報酬を得る仕事だけでなく、結婚、転職、出産・育児、親の介護など、生涯のあらゆるライフイベントを「キャリア」ととらえ、自ら選び取る力を身につけていく考え方です。

生涯を豊かにする力を育てるライフデザイン出張講座を実施しませんか？

人口が減少していく社会で、ライフイベント（結婚や子育て）と仕事を両立することを前向きに選択できるように、WLB 認定スピーカーの家庭生活や子育てもキャリアとすることができる経験談をとおして、家庭を築きながら働くことをイメージしてもらう内容です。

▶ 講座実施までの流れ



※学部、人数、就職先の傾向に応じた WLB 認定スピーカーをご提案します。
WLB 認定スピーカーについては、裏面をご参照ください。

▶ ライフデザイン出張講座 実施校 (50音順)

- 愛媛大学
社会共創学部 (R3年2月、R4年2月)
教育学部 (R4年7月)
- 聖カタリナ大学人間健康福祉部
(R3年10月)
- 松山東雲短期大学現代ビジネス学科
(R3年11月)
- 松山大学経営学部
(R2年5月、R3年5月、R4年6月)

受講した学生の声

実際に講師の方がどのように苦労されているかなど赤裸々にお話いただいたことで将来家庭を持つとどのような生活になるのかをイメージすることができた。

諦めないで挑戦する心を
忘れないでおこうと思った。

育児に対しての家族や企業の様々なサポートが、時代によって変化していることに感心した。

結婚、子育てしながら働くって
カッコイイと思った。

将来における具体的なライフプランを想像できた。特に、子育てにおける問題点や、働く上での心がけるべき事など学ぶことができ、貴重な機会となった。

今後の生きる上での乗り越え方を学ぶことが出来ました。先輩方の人生の歩き方やアドバイスを活かしながら、悩みながらも生きていこうと思いました。

ワークライフバランス認定スピーカー / ライフデザイン出張講座のお問合せ先



人と企業と地域をつなぐ。
WORK LIFE COLLABO

NPO 法人ワークライフ・コラボ (担当: 高橋)
info@worcolla.com

〒790-0806 愛媛県松山市緑町1丁目2-1 和光会館シアターねこ内
https://www.worcolla.com/



2022年8月18日(木) 10時30分～12時

「男女の価値観アップデート勉強会」をオンラインにて開催
～男性の育休体験談を聞いて、将来の結婚、子育て、ハタラクを知ろう・学ぼう!～

就活を一段上からみてみよう!

男女の価値観アップデート勉強会

男性の育休体験談を聞いて、
将来の結婚、子育て、ハタラクを知ろう・学ぼう!

ハタラク 結婚・子育て

【学べること】

- ・産休・育休の制度
- ・父親が育児にかかわるいいこと
- ・自身の生き方について深く考える
- ・社員のワークライフバランスを考える企業にとってのパパ育休がもたらす良い影響

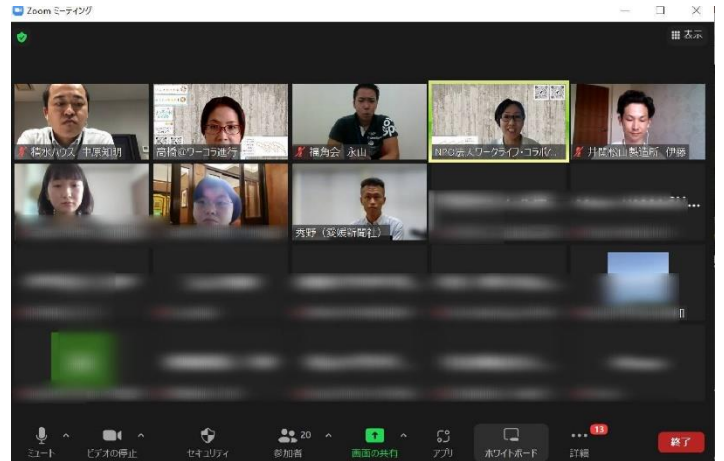
**トークゲストは
パパ育休取得経験者4名!**

- 地元企業に勤める若手の男性社員が、ハタラク・結婚・出産・子育て・育休経験について本音トーク
- 参加者と交流、Q&A

日時: 8月18日(木)10:30 - 12:00
場所: オンライン (Zoom)
参加: 松山市内の大学生・大学院生、専門学校生、男性の育休取得に関心のある方/企業
費用: 無料
申込: <https://forms.gle/4LhQJebLpzJ3H7V7>
主催: NPO法人ワークライフ・コロボ
問合せ: wlc-contact@worcolla.com

申込みフォーム↓


@lifedesign.worcolla Life Design Project
@まつやま人口減少対策推進会議



参加人数

学生 10名 (男子 3名、女子 7名)

企業 8社

登壇者

- ・株式会社井関松山製造所・伊藤悟志さん
製造業ではたらく会社員。9歳と7歳のお子さんのパパ。それぞれ育休&短時間勤務を取得。
- ・社会福祉法人福角会・永山皓介さん
生活介護事業所で働く、3か月のベビーのパパ。会社の勧めもあり、生後2か月の時に10日間の育休を取得。
- ・積水ハウス株式会社・中原知明さん
ハウスメーカーの営業職。夫婦ともに県外出身&土日出勤の勤務体系の共働き家庭。3人のお子さんそれぞれの状況に合わせた育休を経験。
- ・株式会社愛媛新聞社・秀野太俊さん
2008年に9か月間の育休を取得。報道局では初の取得者となり話題に。

参加者の感想

【学生】

- ・男性が育休をとることは、まだまだ驚かれる社会なのですね
- ・「育休で抜けることでキャリアが…」とか「仕事についていけるか…」という不安は「男女同じこと」と話してくださったことに感激しました。女性も同じではと心の中でいつも感じていたので、モヤモヤが晴れました。

【企業】

- ・育休取得により抜けた社員の穴をどのようにフォローするのかという点が最も興味のある点であった。お伺いしたところでは、当初は影響があるが、残りのメンバーで何とかするし、何とかできるということだったと思う。やはり特効薬的な工夫はないことを再認識した。